



華となれ!

宮城県仙台二華中学校

学校だより 第2号

【発行日】 令和3年4月30日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 大泉 真澄

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」=社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

泉ヶ岳 ～春の息吹を感じて～

校外学習 中1生SR巡検

4月19日（月）にオーエンス泉ヶ岳周辺において、1年生のSR（サイエンティフィック・リサーチ）巡検を無事終えることができました。

例年この行事は1泊2日で計画をしていましたが、宮城県が新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の対象地域となったために、屋内施設が利用停止となりました。そこで今年度は、屋外での活動内容に縮小し、感染症予防対策を講じて、日帰りで実施しました。

オーエンスに到着し、桜の木の下でクラスごとに記念撮影をした後で、担当教員から指示を受けて早速活動を開始しました。時折強風が吹き、「寒い!」と感じる時間帯もありましたが、生徒たちは入学後初めての探究活動に満足そうな表情で一日を過ごしていました。



木々を観察し、グループで協力しながら取り組む生徒たち

これは何の木だろう?

「我々の木」の観察

午前「我々の木」の観察です。生徒たちはグループで話し合いながら、1本の木を選定し、観察していきます。胸高直径を測り、根元近くの地面に40cm四方のコドラートを作り、地表面も観察します。観察の中で生徒たちは、「少なくとも2つの方法で樹高を計測しなさい」という課題が一番苦勞していました。木の全体を写真に収めて、手に持った2mの棒と比較したり、三角比を利用して測ったりと、各班とも工夫しながら樹高を計測していました。



木を観察する生徒たち

105名のハンマー音の大合奏

安山岩採集

午後はオーエンス泉ヶ岳から20分ほど山を登り、「関口」で安山岩採集をしました。この地域にある石は、ほとんどが安山岩ですが、この関口付近にはごくまれに玄武岩が存在します。石の表面は風化して観察には適していないことから、生徒たちは1人に1つずつ渡された岩石採集用のハンマーで、石を割って観察をします。生徒たちは、授業中に教えられた安山岩の特徴に合致する石を一生懸命に探していました。



↑ 地学専門、本校の花松先生から安山岩の「鑑定」を受けます。



何回も石を割って観察し、お目当ての石を探した生徒は、花松先生に「鑑定」をお願いします。「うーん、もう少しだなあ」「これは、大合格だね」、花松先生の鑑定に生徒たちは、一喜一憂していました。今回採集した安山岩は、理科の地学分野の授業で本格的に観察をします。

本校ならではの学習活動を展開しています。

中2生 北上川フィールドワークに向けて

4月22日（木）、本校7階大ホールにおいて、NPO法人環境生体工学研究所理事でもあられます東北工業大学工学部 環境応用化学科 教授 山田一裕先生をお招きして「北上川河口のヨシ原を知ろう」と題した講義を行っていただきました。日本の水環境の問題からはじまり、ヨシ原についてのお話は初めて聞く内容が多く、生徒たちは眼を輝かせて山田先生の話に耳を傾けていました。



中3生 シンガポールウェストウッドセカンダリー スクールの生徒とオンライン交流 (第1回)

4月22日（木）の16:30から1時間の予定で中3生の生徒21名が小野美智子先生の指導の下、Zoomを利用してオンライン交流を実施しました。参加生徒からは、「楽しかった!」「もっとスムーズに話せるように頑張りたい」といった感想が聞かれました。今後3回の交流が予定されています。

